

認定特定非営利活動法人

ぶどうのいえだより



編集・発行:堀内 紀子 〒113-0032 東京都文京区弥生 1-3-12
TEL 03-3818-3362 FAX 03-3818-3392

No.92 2024年 冬

ぶどうのいえをご支援くださる皆様に、ご挨拶を申し上げます。

この度、大隈廣理事長からの辞任の申し出を受け、副理事長の立場におりました堀内紀子が理事長職を継ぐことになりました。

大隈廣氏は8年に渡りぶどうのいえの運営を担い、会員制度の見直しなどの定款変更を実施、また営繕の分野では居室の整備や地下室、リネン室の整備等、施設の環境改善に尽力されました。また、特に新型コロナウイルス感染症の流行時には、大変苦労されました。

引き継ぐ者として、改めて大隈氏の運営を振り返り、今後に生かしたいと思います。

私は、1995年に「聖テモテ愛の家」（「ぶどうのいえ」の前身）が開設される以前の準備段階から関わってきました。何人かの仲間と、パンフレットの試作や業務で使う書類の検討など、慣れない作業に取り組んでいました。建設関係の仲間は、設計や備品の打合せ。やるべきことは山ほどありましたが、熱気に満ちた大きな波がうねるような感じでした。先輩の「愛の家」（現ファミリーハウス）様からはノウハウなどを多く教えていただきました。

開設後、私はボランティアとして主に日々の受付業務をしてきました。ある時期、会計補佐を担当したこともあります。会議の場では書記として陪席、諸先輩のアドバイスで議事録等の文書の書き方を学ばせていただきました。

ぶどうのいえは2000年4月にNPO法人として独立しました。さらに、2005年には認定NPO法人の認証を得ています。社会的に重要な活動と認められているのです。

しかし、最近では当初と比べると、社会情勢も病院の体制も大きく変化しています。

滞在施設は、全国的に増えて利用者さんのニーズに応えられるようになったと思います。医療の東京への一極集中は減少し、ぶどうのいえも地方からの利用者さんが減りました。特にコロナの影響は大きいですが、その他、活動の中核を担うボランティアさんの高齢化、施設の経年劣化など、さまざまに厳しい

と感じる状況です。

以前、ファミリーハウスの植田事務局長様から、「ぶどうのいえはパイオニア」というお言葉をいただきました。私は、この言葉を誇りに思っています。滞在施設がほとんどなかった時代に始めて、頑張ってきたという意味だと思います。

パイオニアとしての役目と近年の状況変化への対応。難しい岐路に立たされている現実を見つめ、難病のお子さんと家族を支えるという基本理念を守りながら、ボランティアさんと共に今後の活動続けてまいります。

今後とも、ぶどうのいえを宜しくご支援くださるようお願い申し上げます。

新理事長ご挨拶 堀内 紀子

退任のご挨拶

まずもって、年度の間中期に当たる8月末日にぶどうのいえの理事長を自己都合により辞任させていただいたこと。また、続いての理事長の要職を引き受けていただいた「堀内紀子氏」にお礼を申し上げますとともに、関係者の皆様に深くお詫びを申し上げます。

ご承知の通り、今年度は東京都が管轄されている「NPO法人」の認定資格の更新の時期に当たっており、3月の会員総会の時点での役員交代ができなかったため、このような仕儀となってしまいました。

そもそも、私が先代の堀内昭理事長からぶどうのいえの運営を引き継いだのは、2015年の創立20周年を盛大にお祝いした翌年の2016年でした。それからの8年間、前半の4年間は創業以来20年間稼働してきた施設全体の手入れや組織運営の引継ぎと改善などに努め、諸先輩方のご指導をいただきながら、年間滞在者数3000人を目標として取り組んでまいりました。

幸い、2019年度には、近隣病院への訪問再開などの滞在者数拡大の諸方策も効を奏し、年間滞在者数を2964人まで回復させることができましたが、ご存じの通り、世界的な大流行となった「新型コロナウイルス感染症」の事案が当年度末から突如発生する事態が生じてしまいました。それからの4年間は休業や滞在室数を大きく縮小させるなどの対応をせざるを得ず、本格的に事業再開に戻れたのは、2024年度からということになっています。

この間、特にコロナ感染防止のための休業期間中から事務局を担当していただいた鶴飼良機理事、鶴飼久美子職員のお二人と共に、かろうじて滞在施設を維持・管理できたことを有難く感謝しています。また、現在では、リピーターの方々の利用も戻りつつあり、以前のような滞在者実績に復帰できるよう、新理事長の下で、理事やボランティアの皆さんが頑張っていただけのことを有難く存じています。

現在では、わが国の医療の発展と目覚ましい技術革新が遂げられ、また全国的な病院体制の整備も一段と進んでおり、滞在施設事業を巡る事業環境も大きく変化しています。これからの事業運営もまた大きな課題を抱えるものと思われませんが、皆さんのご健康とご活躍をお祈りいたしております。

大隈 廣



講演会

テーマ: ボランティア
~寄り添いとその距離感~

ぶどうのいえでは、講演会や研修会を定期的に行っています。
そして、活動中の課題解決や実務改善に繋げていきたいと思っています。
一緒に学びませんか?

講師: 高山直樹先生
東洋大学福祉社会デザイン学部教授

参加費無料

主催: 認定NPO法人ぶどうのいえ
日時: 2024年10月19日(土)
午後13時半~
場所: 東京聖テモテ教会ホール
住所: 東京都文京区弥生 1-3-12

高山直樹先生の講演会を聞いて

西田 恵子

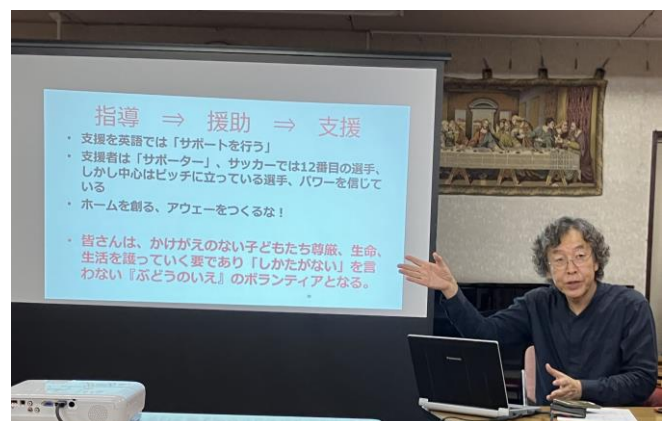
東洋大学高山直樹教授は、2016年7月に神奈川県で起きた津久井やまゆり園事件を受けて、その再建に中心的に関わられた先生です。社会貢献センター長やボランティア支援室長としてもご活躍です。令和6年能登半島地震と奥能登豪雨では、学生ボランティアを引率して何度も被災地支援を実施しました。高山先生がその際にたびたび目にしたのは、支援を専門とする人々ではなく、素人の学生ボランティアのほうで現地では歓迎され、人々の指示を受けてスムーズに動きまわる姿だったそうです。この事実は、支援を受ける人と支援を行う人の紐帯(ちゅうたい)つながりを持たせる、大切なもの)について示

ています。つまり、家族・職員など社会的つながり(強い紐帯)よりも、上下関係のない学生ボランティアみたいなちょっとした知り合い(弱い紐帯)のほうが、支援を受ける人々のための環境要因として相応しいというのです。

何でも言える信頼関係や失敗できる環境づくりへの配慮が、支援方法において欠かせない要素なのです。「いいね それ!」「よかったね!」とうなづきながら、「一緒に考えようね」と言って成功体験や失敗体験を積み重ねながら、人々の意思決定を支援していくのがボランティアであると話されました。

また、ボランティアというと、とかく日本では奉仕や献身的と受け取られますが、「自分の意思」が大切な活動であるというのが語源からの意味だといいます。自分の意思からではない場合には、独善的になったり変に同情的になったり、ボランティアのためのボランティアになってしまうのだそうです。

10月19日(土)午後1時半から2時間近く、東京聖テモテ教会ホールで、ぶどうのいえと教会から12名ほどが講演会に出席して、熱心に高山先生のお話に耳を傾けました。上で述べたこと以外にも「ボランティア」~寄り添いとその距離感~というテーマにそって、知っておくべきことや気を付けたいことなど、たくさんのお話をいただきました。今回の研修の成果は、ぶどうのいえの日常活動の中で、課題の解決や実務上の改善に具体的につながっていくだろうと確信します。高山先生、本当に貴重な講演を聞かせて下さりありがとうございました。



追悼 中川李枝子先生

「ぐりとぐら」などで著名な児童文学者の中川李枝子先生が、10月14日に逝去されました。先生は長年にわたりぶどうのいえをご支援くださいました。「ぶどうのいえ 20周年記念誌」に寄せてくださった詩を、ここに載せ、改めて感謝とお悔やみの気持ちを表したいと思います。

ぶどうのいえに贈る「うた」

中川 李枝子

ぶどうのいえは

ぼくのおうち

あたしのおうち

いつてまいります

いつてらっしゃい 気をつけて

ください

おかえりなさい

座っても 寝ころんでも

いいきもち

だってえ ぼくのおうちだもの

だって あたしのおうちだもの

お父さん お母さん きょうだい

みんな いらっしゃい

絵本 ゲーム おもちやばこ

たのしい おしゃべり

しりとり などなど

今日は何して遊ぼうか

ふくれつつらも 泣き虫も

ぶどうのいえでは にこにこ ごきげん

だって ぼくのおうちだもの

だってあたしのおうちだもの



オータムフェスティバル

樋口 扶美子

ここ数日でぶどうのいえのおとなり東大のイチョウもやつと黄色く色づき始めました。今年は本当に経験した事がない程の暑い日が多く、随分と戸惑われた方も多いのではないのでしょうか。

10月14日同じ敷地の聖テモテ教会の『オータムフェスティバル』が開催され、私たちも参加させていただきました。青い空が広がり汗ばむほどの好天に恵まれました。施設の入り口前に大きなテーブルを出して手芸品を並べてお好みの物を来場者の皆様にお買い上げいただいております。かれこれ20年近くこの様な大きなイベント毎に手芸品屋さんを開きます。

コロナ禍以来、久しぶりにマスクや距離といったものをあまり気にせずの開催ですので商品の並べ方にしても接客もどこかぎこちなく…失われた数年の重さを思わぬところで感じました。

滞在中のご家族、バザーなど折々のイベントに顔を出してくださる方、少し前にボランティアを引退された方、谷根千観光に来た海外の方など多くの方々が私共のテーブルにいらしてくださり、色とりどりの手芸品を手に取りお気に入りの品々をお買い上げくださいました。

「うさぎも豚もお魚もかわいいからこの指人形が全部欲しい！」おねだりするお子さん、「いつもいただく刺し子の布巾がもう全部差し上げてしまってねえ」とおっしゃる常連のご婦人、久しぶりに退院されたお父さんにピッタリくっついて「これにしようよ」手編みのサンタクロースの人形を買ってもらったお子さん、「手作りの袋物っていいわねえ」と熱心に選ばれる年配の方。わずかな時間ではありましたが訪ねてくださった多くの方々から素敵な笑顔と言葉をたくさんいただき充実したひと時となりました。

80を迎えられた手芸品担当リーダーのHさんまだまだ現役続行をお願いしますね、ついてまいりますから。



お知らせ

運営会員通常総会

2025年3月8日（土）14:00～15:00

ぶどうのいえ では、運営会員になっていただく方を募集しています。

お知らせ

事務局担当者変更

事務局担当の鶴飼良機理事が辞任、事務局員の鶴飼久美子氏が退職されました。これまでのご尽力に感謝いたします。

10月から、西田恵子副理事長と横山融理事が、事務局全般の業務を行うことになりました。

★ ありがとうございます

寄付・会費の方々

(順不同・敬称略)

大滝豊 日本聖公会東京教区 田中芳子 菊地純子 三浦優子 西平心華子 金井玲子 石渡康弘 立教
 英国学院卒業生によるチャリティーコンサート 川村英男 織田恵子 宮野紀栄子 長谷川淳子 寺村佳
 江 南みよ子 大城敦 聖ミカエル教会姉妹会 仁科昌子・朋子 春山美智代 朝井静子 大久保えま子
 北村ミチル 鵜飼良機 有坂佐智子 早川和子 大滝留理子 富岡房江 匿名 野島千恵 鈴木みゆき
 堀内紀子 古川賢司 堀内昭 堀内紀子 ぶどうのいえ ボランティア有志 学校法人立教女学院 中村
 嘉一遺贈 聖オルバン教会 飛松一樹・薫 小野寺達 中津川真基子 畠山憲子 (株)まなび梯 阿佐ヶ
 谷聖ペテロ教会 荒川こずゑ 荒川温子 荒川雄行 上松恵子 鵜飼良機 鵜飼久美子 内ヶ崎儀一郎
 内ヶ崎昌子 梅田晶子 大隈廣 岡田順子 岡村ゆき子 小川弥生 小口淳子 賀来秀文 加藤誠 北原
 和夫 小林力 酒井三貴子 椎橋照子 鈴木百合子 鈴木洋二 田中宏祖 田中応佳 田中好子 土屋賢
 一 西田恵子 野島千恵 早川和子 東弘彦 別所文雄 堀楚乃子 堀内昭 堀内紀子 前田美穂 三村
 信子 山縣寿太郎 横山融 渡辺真理子 菅原仁美 渡辺洋子 冨塚康子 木村義介 見目政隆 大岩良
 至 新田紗世 太田信三 黒澤圭子 大畑喜道 金井玲子 倉辻明夫 長松康子 宮崎功 八代捷 樋口
 扶美子

(2024年5月1日～10月31日)

★ ありがとうございます

物品寄付の方々

(順不同・敬称略)

大隈敬子 (切手)、鵜飼久美子 (雑貨・食品)、長内英樹 (食品)、横川浩子 (衛生用品)、匿名 (雑貨)、
 渡辺忠寛 (衛生用品)、花王 (株) (衛生用品)、奥野貢 (果物)

(2024年5月1日～10月31日)

ご寄付のお願い

来年度に向けて、振込用紙を入れさせていただきました。
 ぶどうのいえは皆様のご支援で支えられて運営しております。
 どうぞよろしくお願いいたします。

会計担当 横山 融

編集後記

夏号の発行後、10月より新体制となりました。ボランティアさんの不足もあり、スタ
 ップの負担が増えてきました。
 しかし、利用者の方々には、変わらず清潔で安心な施設の提供を心がけてまいります。
 今年は、大きな災害に明け暮れた年でした。来年は穏やかな年になりますように。

(編集：西田、堀内)

認定NPO法人 ぶどうのいえ

ホームページ <https://www.budounoie.jp/>
 E-mail jimukyoku@budounoie.jp
 郵便振替口座名 特定非営利活動法人ぶどうのいえ
 郵便振替口座番号 00120-2-540161